

2023年3月期第3四半期 (FY2022 3Q) 決算概要

2023年2月2日

千代田化工建設株式会社

エンジニアリング 社会の“かなえたい”を共創する



SPERA Hydrogen
Shaping the Future of Energy

Our SDGs Materiality



I 決算概要

II トピックス

III 主要遂行中案件

I 決算概要

1 ハイライト

1. 業績予想の上方修正

手持案件の着実な進捗、新規分野での利益の堅調な積み上がり、および顧客とのリスク分担による採算の改善により、期初の業績予想を引き上げ。

2. 世界的なインフレへの対応

顧客、パートナーと協力して、既存・新規案件への影響を最小化し、収益の安定化とリスクコントロールを強化。

3. 国内事業の基盤強化

本年4月に国内グループ会社3社を統合し、「千代田エクスワンエンジニアリング(株)」を設立。EPCからME*迄をワンストップで提供する総合エンジニアリング会社を目指す。

*メンテナンスエンジニアリング

2 損益計算書

(単位: 億円)

	FY2021 3Q	FY2022 3Q	増減	FY2022 通期予想*2	進捗率
完成工事高	2,171	3,085	914	4,500	69%
完成工事総利益	169	235	67	350	67%
完成工事総利益率	7.8%	7.6%	△0.1pt	7.8%	-
販売費・一般管理費	△86	△99	△13	△150	66%
営業利益	83	136	53	200	68%
経常利益	88	156	69	200	78%
純利益*1	△137 ^(注)	125	262	150	84%
為替レート(円/米ドル)	115	133		133	

(注) FY2021 1QにイクシスLNGプロジェクト(完工済み)で特別損失△204億円を計上。

*1 親会社株主に帰属する当期純利益

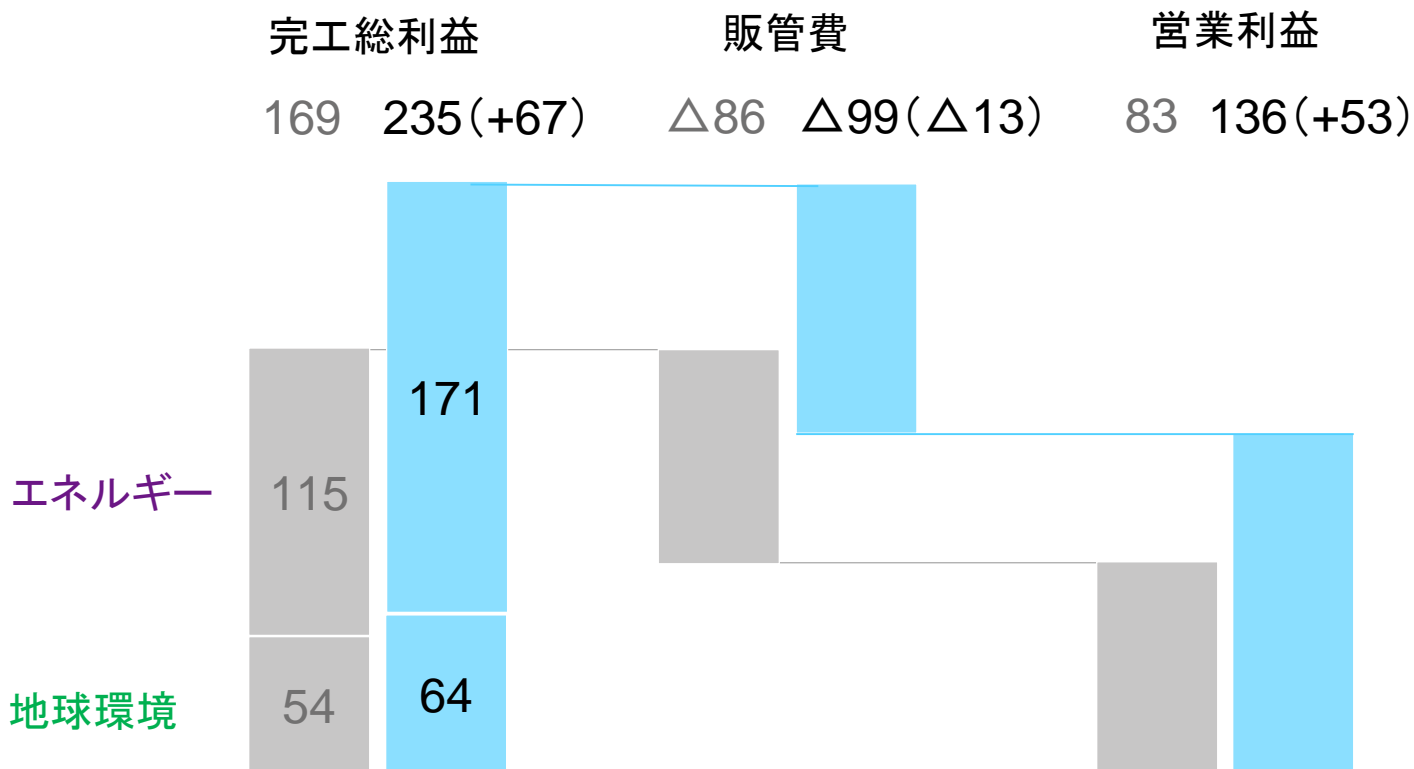
*2 2023年1月31日に上方修正(期初予想の純利益115億円→150億円)

3 利益増減分析

(単位:億円)

FY2021 3Q

FY2022 3Q



()内: FY2021 3Q比増減

4 バランスシート

(単位:億円)

	FY2021 4Q	FY2022 3Q	増減		FY2021 4Q	FY2022 3Q	増減
流動資産	3,727	3,524	△203	流動負債	3,507	3,372	△135
現金・預金等	688	611	△77	支払手形・工事未払金	961	1,214	253
営業資産*1	590	669	79	契約負債 (未成工事受入金)	1,434	1,391	△44
未収入金	832	379	△453	工事損失引当金	348	341	△7
JV持分資産*2	1,414	1,406	△9	未払金	440	158	△282
その他	217	476	258	固定負債	290	246	△44
固定資産	227	243	16	純資産	158	149	△8
総資産	3,954	3,767	△187	負債・純資産	3,954	3,767	△187
				自己資本	157	148	△8
				自己資本比率	4.0%	3.9%	△0.0pt

*1 営業資産＝受取手形・完成工事未収入金及び契約資産＋未成工事支出金

*2 JV持分資産＝ジョイントベンチャーにおける当社持分に相当する現預金

5

受注高・受注残高

(単位:億円)

	FY2022 3Q 受注高	FY2022 3Q 受注残高
エネルギー分野	856	9,162
地球環境分野	350	3,633
合計	1,205	12,795

受注残高主要案件	1,000億円以上	50億円以上
エネルギー分野	カタール・NFE LNG 米国・ゴールデンパスLNG	インドネシア・タンゲーLNG
地球環境分野	インドネシア銅製錬	バイオ医薬品原薬製造工場 北豊富変電所蓄電池

完成工事高・受注残高内訳

(単位:億円)

FY2022 3Q 完成工事高

【分野】

エネルギー	2,072	67%
■ LNG・その他ガス関係	1,839	60%
■ 石油・石油化学	233	8%
地球環境	1,013	33%
■ 医薬・生化学・一般化学関係	230	7%
■ 環境・新エネルギー・インフラ他	783	25%
合計	3,085	100%

【地域】

海外	2,503	81%
■ 中近東・アフリカ	1,107	36%
■ 北中南米	452	15%
■ アジア・オセアニア	944	31%
■ その他海外	0	0%
■ 国内	582	19%
合計	3,085	100%

FY2022 3Q 受注残高

【分野】

エネルギー	9,162	72%
■ LNG・その他ガス関係	8,847	69%
■ 石油・石油化学	315	2%
地球環境	3,633	28%
■ 医薬・生化学・一般化学関係	421	3%
■ 環境・新エネルギー・インフラ他	3,213	25%
合計	12,795	100%

【地域】

海外	11,800	92%
■ 中近東・アフリカ	7,223	57%
■ 北中南米	1,264	10%
■ アジア・オセアニア	3,312	26%
■ その他海外	0	0%
■ 国内	995	8%
合計	12,795	100%

Ⅱ トピックス

1 国内事業強化

千代田エクスワンエンジニアリング設立

- 本年4月に国内グループ会社3社を合併し、国内有数の総合エンジニアリング会社となる「千代田エクスワンエンジニアリング株式会社(英文名:CHIYODA X-ONE Engineering Corporation)」を設立
- EPCからオペレーション&メンテナンスエンジニアリングまで、ワン・ストップ・サービスを提供することで当社グループの国内事業を強化



エネルギー・環境・メンテナンス事業



千代田工商株式会社

計装・電気ソリューション事業



千代田システムテクノロジーズ株式会社

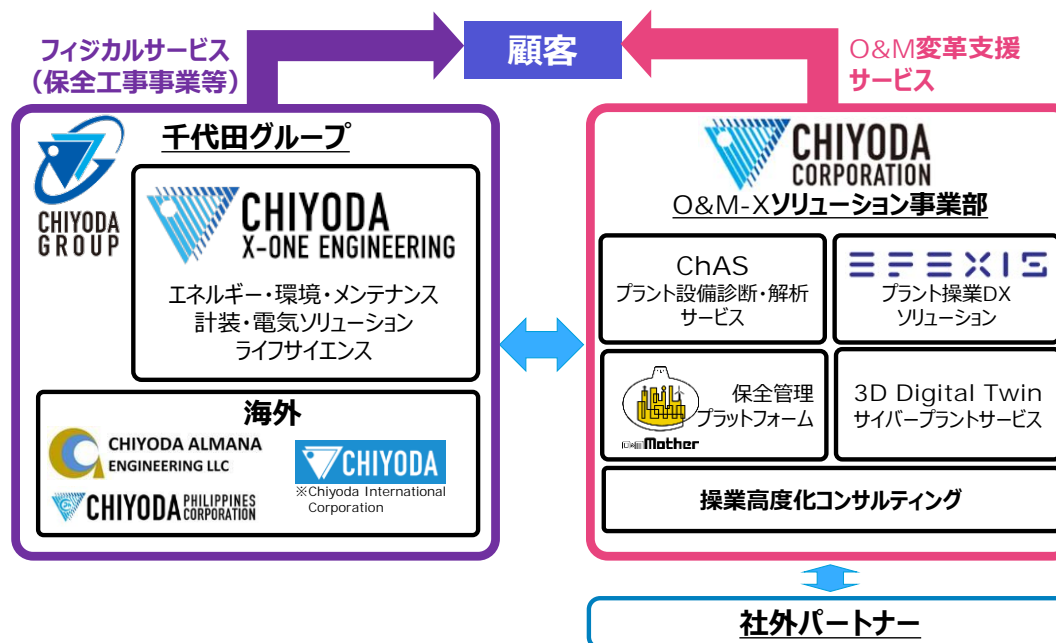
ライフサイエンス事業



千代田テクノエース株式会社

顧客プラント運転・保全(O&M)の変革(X)事業が始動

- 高度設備診断・解析技術、保安全管理支援等ソリューションとEFEXIS[®]*1、O&M Mother[®]*2などのデジタルソリューションを集約、新事業部設立。
- 本年4月に新設する「千代田エクスワンエンジニアリング(株)」をはじめグループ企業と連携し、顧客のプラント運転・保守業務の変革をサイバーとフィジカルの両面で支援するソリューション提供を拡大・加速、O&Mビジネスを拡充していく。



*1 プラント操業最適化を実現する革新的デジタルソリューションのブランド名称

*2 プラントの高度診断・解析技術と最新のIoT・クラウド技術を融合したプラントのO&Mソリューション

全社DX加速の取り組みが進展

■DX認定業者

- 12月に経済産業省より、「DX認定事業者」としての認定を取得。
- グループ一丸となりギアを上げてDX加速に取り組む。

■デジタル変革ビジネス(DX事業)

- 太陽石油(株)四国事業所で導入されたEFEXIS®FCC最適運転AIシステムでRFCC装置の触媒反応の最適化により、生産計画に沿った生産を達成。
- デジタル技術を活用したスマートファクトリー構想を支援、熟練オペレーターの知見継承にも貢献。



FCC最適運転AIシステム
を使用している様子



RFCC(残渣流動
接触分解)装置

4 ライフサイエンス事業

ワクチン原薬製造設備 完工

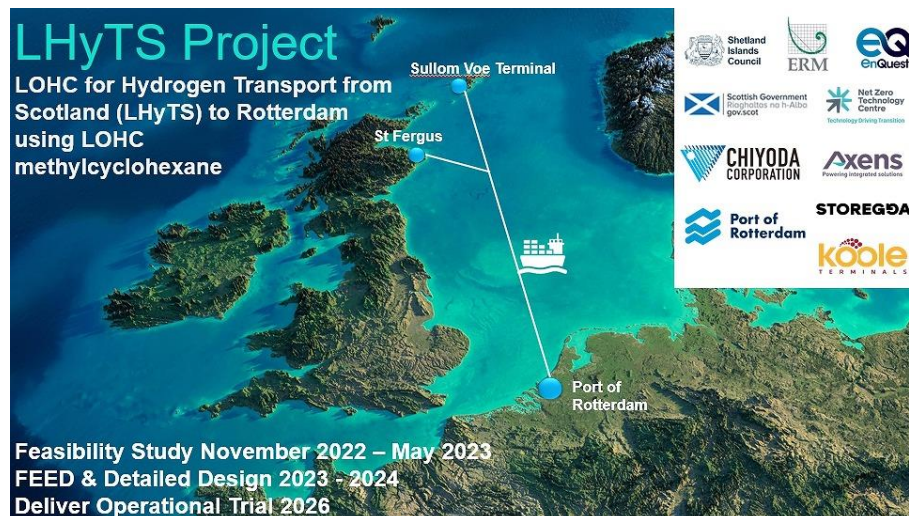
- 塩野義製薬(株)向けワクチン原薬製造設備建設工事完工、2023年1月引き渡し。



ワクチン原薬製造設備外観

欧州でのMCHによる「水素ハイウェイ」への参画

- 水素キャリアに関する事前調査で総合評価が最も高いLOHC-MCH*を水素キャリアにした、大規模輸出の実装に向けたパイロットプロジェクトの開発・組成を目的とする事業化調査。
- Net Zero Technology Center をプロジェクトコーディネーターとして、スコットランド政府、港湾公社など10企業・政府機関で構成される国際コンソーシアムが推進。
- 2045年迄に25GWの再エネ由来及び低炭素な水素の生産に取り組むスコットランドと欧州の水素ハブ港となる目標を掲げるロッテルダム港を接続。



* LOHC: Liquid Organic Hydrogen Carrierの略。液体有機水素キャリア。

MCH: メチルシクロヘキサン。トルエンと水素の化学反応で生成、常温・常圧で液体。化学的に安定、取り扱いが容易な物質。医薬品、農薬製造の溶剤、ジェット燃料の混合剤、修正液の溶剤などで幅広く使用。

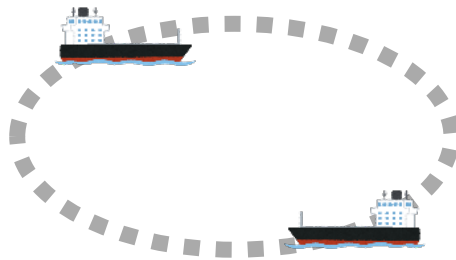
フランスAxens社との戦略的商業協力

- LOHC-MCHによる水素サプライチェーンに関する商業協力契約を締結。
- Axens社のトルエン水素化技術と当社のSPERA水素(MCH脱水素)技術を組み合わせることで、水素化・脱水素の技術間調整にかかる顧客負担を軽減、プロジェクト早期実現のアプローチを提供する。
- 欧州市場を中心に、日本、北米、アジア、オセアニアなどにおける水素案件に、共同で売り込みを図り、水素サプライチェーン構築を加速する。

Axens社-千代田 ライセンスコマーシャルパッケージ



- トルエン水素化技術
最適化されたエネルギー効率で、トルエンと水素から高純度のMCHを製造
- ライセンサーとしての専門性



- SPERA水素(MCH脱水素)技術
MCHから水素とトルエンを高い転化率と選択率で製造
- エンジニアリングの知見

タイにおける脱炭素の共同技術検討の覚書を締結

- タイの独立発電事業者BLCP パワー社、三菱商事(株)と、BLCP パワー社の運営する石炭火力発電所でのCCUS*1の技術検証・経済性評価を実施する。
- 当社は、独自のCO₂リフォーミング技術*2の知見等を活かして技術サポートを行う。
- 日本政府が掲げるアジア・ゼロエミッション共同体構想で重要国と位置付けられているタイにおけるCCUS実装への貢献と他の火力発電所への横展開を目指す。



1月12日開催「日本・タイエネルギー政策対話」での覚書署名式の様子

*1 Carbon Capture, Usage and Storageの略、CO₂の分離・回収・有効利用・貯蔵

*2 CO₂を原料にして天然ガスから合成ガスを高効率に製造、排出炭酸ガスを大幅に削減する環境調和型技術

Ⅲ 主要遂行中案件

1 カタールNFE LNG（エネルギー分野）

【特徴】

- 年産800万トン x 4系列の超大型プロジェクト
- 既存LNGプラント比25%以上のCO₂排出量を削減

顧客	QatarEnergy
パートナー	Technip Energies
納期	2025年～2027年
遂行状況	設計・調達を遂行、本設プラントの土木工事が本格化。

プラント完成予想3Dモデル



Courtesy of QatarEnergy

2

インドネシア銅製錬（地球環境分野）

【特徴】

- 銅は脱炭素社会の主要素材、今後の需要拡大
- 単一ラインとして世界最大規模の生産能力
- IFC*の基準に準拠した高い環境対策を実現

顧客

P.T. Freeport
Indonesia

納期

2024年

遂行状況

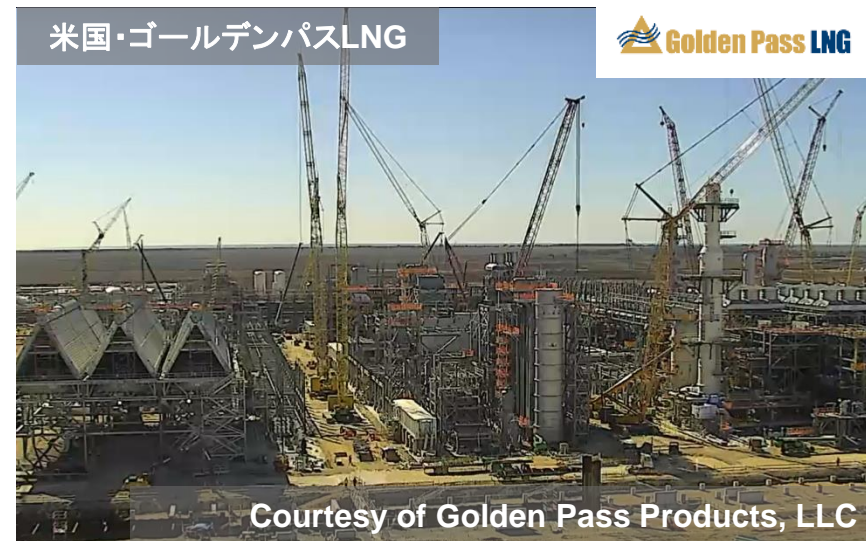
設計・調達遂行中。
建設工事が本格化。



3

その他の主な遂行中案件

案件	インドネシア・タングーLNG	米国・ゴールデンパスLNG
顧客	BP Berau Ltd.	Golden Pass Products, LLC (QatarEnergyとExxonMobilのJV)
パートナー	Saipem, Tripatra	Zachry, McDermott
納期	2023年 RFSU(Ready for Start-up)	2024年～2025年 (3系列)
遂行状況	建設工事終盤、完工に向けて遂行中。	建設工事が本格化し進捗中。



E nergy and E nvironment in H armony



千代田化工建設株式会社 総務部IR・広報・サステナビリティ推進セクション <https://www.chiyodacorp.com/jp/>

この資料には、事業戦略・本資料発表時における将来に関する見通しおよび計画に基づく予測が含まれています。経済情勢の変動等に伴うリスクや不確定要因により、予測が実際の業績と異なる可能性があり、予想の達成、および将来の業績を保証するものではありません。従いまして、この業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控えくださいますようお願いいたします。